

豊田中央新聞

第67回中日少年野球大会
豊田・みよし地区予選

2期生嬉し初V

第67回中日少年野球大会は25日、豊田市毘森公園野球場で決勝戦があり、豊田中央クラブが3―1で豊田南クラブに勝利し優勝を果たした。同クラブは8月より熱田・瑞穂球場で行われる愛知県大会に出場する。



優勝が決まり喜ぶ豊田中央ナイン=25日、豊田市毘森公園野球場

【戦評】先発の柿崎（3年・梅坪台）は立ち上がりにもやや硬さが見られ、四球と味方のエラーで1死満塁としたものの、相手の拙攻にも助けられ初回のピンチを無失点で切り抜けると、2回表に主将の岸川（3年・朝日丘）の3塁線を破るヒットをきっかけに相手のミスに乗じて先取点をあげ、8番の村上（3年・朝日丘）、9番の深谷（3年・朝日丘）が



先制のホームを踏み主将の岸川（3年・朝日丘）

浦田 守りにも助けられ、強力南打線を5回1安打に抑えた。6回から登板した宮崎（2年・高橋）が1点を失ったものの最終回には金澤（3年・梅坪台）が抜ければ完全に長打という打球をフェンス際で好捕しチームを救うプレーを見せた。強打の南クラブに対して、要所を締める堅実な守備で終始相手に流れを渡さなかった中央クラブに軍配が上がった。

豊田中央	豊田中央	▽決勝
0	0	
0	3	
0	0	
0	0	
0	0	
0	0	
1	0	
0	0	
—	—	
1	3	

4度目のチャレンジ

「全身に痛みを感じ
るくらいに緊張感だっ
た」と先発した柿崎は
試合を振り返った。相
手は過去２度のサヨナ
ラ負け、１度は完封シ
ャットアウト負けをし
ている難敵、豊田南ク
ラブ。「今回は投手の
継投がポイントだっ
た。体調不良で練習し
ていない期間があった
が、相性のことも考え

先発を決めた。決して
本調子ではなかったと
思うが智仁は粘り強く
投げてくれた」と川本
監督は先発した柿崎を
ねぎらった。柿崎は「初
回のピンチを抑えたこ
とで楽になった。２回
以降は思い切って投げ
られたし、無失点に抑
えられたのは守備のお
かげ。素直にうれしい。

県大会も出番があれば

しつかり投げたい」と意欲を見せた。最終回、好捕でチームのピンチを救った金澤は「前回（サヨナラ負けをした試合）と同じ打者で、全く同じところに打球が飛んできた。落下点にまっすぐに走ることだけを考えた。捕れて良かった」と振り返った。前回南クラブに負けた時、「このままではいけない」と指導者と話し合いの機会を持ち、自分たちの考えを彼らなりに勇気を出して伝えた。そこで積極的に発言した選手の中にこの金澤もいた。チームの問題と向き合

ながら練習に取り組み、一丸となつて「チャレンジ」し続けた豊田中央クラブナインに、野球の神様は最後に微笑んだ。（宇田）

▽決勝戦までの勝ち上がり

2 回戦
豊田中央 5 - 0 上郷中学校

3回戦
豊田中央15-0井郷・藤岡南・逢妻合同

準決勝
豊田中央 3 - 2 童神中学校



豊田中央クラブ

第67回中日少年軟式野球大会
令和5年6月25日(日)版

通 団	豊田中央クラブ
車庫番	豊田南クラブ
第2校	豊田南交電南中学校
第3校	豊田市立豊富中学校

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
勝率	0	3	0	0	0	0	0	3
総得点	0	0	0	0	0	0	13	1
試合時間	1時間・2時間・3時間							
試合場	西岡一球場							

◆戦いの軌跡◆

